

県央・共生通信

西横浜に新しい風が立つ

第1号

今月のトピックス

- ・あいさつ
- ・運営法人の紹介
「横浜共生会」「県央福祉会」
- ・それぞれの施設紹介～めざすもの～

注目

ふたつの社会福祉法人で、横浜西区に福祉拠点を創ります。それぞれの法人のもっているノウハウを出し合いながら、障碍（しょうがい）のある人の暮らしを充実させていきたい！その願いを叶える拠点です。オープンが平成21年4月（予定）！さてさて、どんな展開になっていくか??お楽しみに！今後、「県央・共生通信」で経過をご報告いたします。

運営法人の紹介

☆県央福祉会☆

1975年、一部屋の「こどもの生活相談室」を開設以降、ノーマライゼーションの理念の実現化を目指し、地域型福祉・在宅福祉サービスの実践、ネットワークの充実に努め、誰もが住み慣れた地域で豊かに暮らせるよう事業の整備を行い、大和市、藤沢市、海老名市、横浜市、相模原市に事業所を持ち、様々な支援、サービスを展開しています。【HP】<http://www.tomoni.or.jp>

【「西区障害者就労支援型施設」に関するお問い合わせ先】

横浜中部就労支援センター内 西区障害者就労支援型施設準備室
〒220-0023 横浜市西区平沼1-38-3 横浜エムエスビル4F
TEL 045-350-2044（担当：熊井）

☆横浜共生会☆

法人の理念は、障がいの有無や年齢に関わらずだれでも当たり前の生活が地域の中でなしうる、またその人らしくよりよく生きることがかなう、そんな社会を創りだすことにあります。そのために、それぞれの施設が持っている当然の役割に加えて、出会うこと、知り合うこと、支え合うこと、これらを地域の中で支援すべく、以下を宣言します。

1. 「共生」を旗印に、地域の中でだれもが安心して共に生活できることを目指し、また地域へ進んで乗り出し、地域とともに歩み、汗し、息づく活動であること
2. 無知、無理解、偏見、差別という過程を超えるため、障がい当事者等との出会いの場をつくり、障がい当事者等が地域、社会、そして制度を創っていくことを協働すること
3. 障がい当事者等の自律、主体性、参加、選択、決定を大きな柱にして、施設の枠を超え地域で生きることに視点をあて、ノーマライゼーション理念の実践体たること

【HP】<http://www.y-kyousei.or.jp>

【「西区法人型地域活動ホーム」に関するお問い合わせ先】

地域活動ホーム どんとこい・みなみ

〒232-0033 横浜市南区中村町4-270-3

TEL 045-264-2866（担当：渡辺）

7月1日～ 地域生活支援センター南海（なみ）内

西区法人型地域活動ホーム準備室

〒232-0045 横浜市南区東蒔田町1-10

2009年(平成21年)4月に西区しょうがい施設が誕生します。5階建そして屋上ありの建物が相鉄線西横浜駅前に「西区障害者就労支援型施設」「障害者地域活動ホーム」として2つの施設が動き出すこととなります。この施設の受託については横浜市の画期的な提起をうけて就労が県央福祉会。活動ホームが横浜共生会として運営するという事で、最初から連携しあい共同での企画書提出というはじめての試みからスタートしました。そのために昨年末頃から両法人からメンバーが選出されどんな施設を創り上げていくかについて議論を重ねているところです。「働くこと」そして「その地域に暮らし生きていくこと」に対しどんな絵を描くことができるかどうか。ととても素晴らしい夢の実現がもしかするとこの西区施設から発信出来るのではないかと考えています。

横浜共生会も同時に市内で16番目となる「地域活動ホーム」をどんなものにしたいか共同討議とは別に、今検討を重ねはじめています。共生会が運営を任される3つ目の地域活動ホーム<先にしんよこはま(港北区)・どんとこい・みなみ(南区)>となります。「だれでも当たり前な生活が地域の中でなしうる、またその人らしくよりよく生きることがかなう。そんな社会を創りだすことにあります…。」と法人理念は謳います。本当にこの理念を具現化していくために西区住民の声を聞きながら、またしんよこはま・どんとこい・みなみでの運営経験を基礎におきながら、今本当に何ができるのかを考えています。地域活動ホームの4つの仕事と云われるのが

- 1)相談
- 2)日中活動
- 3)生活支援・一時ケア、ショートステイ等
- 4)地域連携(交流)

です。地域の拠点と云われている活動ホーム。第1号施設から10年たち、いい意味でもう一度その意義を振り返る時期になっています。「地域拠点とは何か」を含め、事業内容の是非も論議し、新しい地域活動モデルを提起出来たらいいな…。そのためにも就労との施設内・外連携が不可欠のものとなります。相談・日中活動・生活支援等々。すべて共同での仕組み作りが必要となってきます。そして地域機関との対等連携をどう組み立てられるかどうか。地道な積み重ねを大事にしながら新しい福祉モデルの創出に向かっていきたいと願っています。

これから……。そんな「夢かなう発信」を両法人で行っていきます。

西区障害者就労支援型施設(仮称)の概要

社会福祉法人 県央福祉会
常務理事 佐瀬 睦夫

1. 県央福祉会の目的

本来、民間社会福祉事業は、社会のニーズに応えるべく先駆的で開拓的な事業を展開する使命を持っています。県央福祉会は常に新しいニーズに応えるべく、時代の要請に基づく施設作りをして参りました。また、私どもは設立より今日まで、障害のある人や高齢者の生活が、障害のない人と同じような暮らしができる環境作りをめざしてきました。県央福祉会は、ノーマライゼーションの理念に沿って、すべての障害者や高齢者が社会を構成する一員として社会・経済・文化・その他あらゆる分野の活動に参加できるように支援することを目的としています。

2. 西区障害者就労支援型施設(仮称)目的

「西区障害者就労支援型施設」(仮称)は、県央福祉会の理念と基本方針を遵守するとともに、働くことを通して、その人にふさわしい生活の実現をめざします。

「西区障害者就労支援型施設(仮称)」は、障害者就労支援センターと協働で、一般就労が可能な障害のある人の、就労移行事業を有期限で行うコースと、一般就労が困難な障害のある人の、就労継続支援事業(B型)(平均工賃目標5万円)を行う2コースの多機能型施設とします。

3. 対象者

原則として18歳以上の一般就労及び福祉的就労をめざす、身体に障害のある人、知的に障害のある人及び精神に障害のある人、また、時代の変化に伴い発達に障害のある人も対象とすることも検討します。

4. 利用者支援の基本方針

- (1) 利用者の人権の尊重と権利擁護に努めます。
- (2) 就労移行支援か就労継続支援かの選択と作業科目の選択は、利用者一人ひとりの障害の特性や個性に合わせてとともに利用者のエンパワメントを大切に支援を行います。
- (3) 豊かで充実した地域生活を送るために個別的で、ライフサイクルに応じた支援をします。
- (4) 地域生活を支えるためのネットワーク作りを目指します。
- (5) 家族への情報提供と信頼関係の確立を図ります。
- (6) サービスの向上と開かれた施設作りのために、苦情解決制度や地域オンブズマン制度等を積極的に活用します。

5. 職員構成及び利用者定員

(1) 職員

職員は、施設長以下 39名(非常勤含む)で支援に当たります。

(2) 利用定員 定員 90名

内訳	(1) 身体障害者就労移行コース	10名	
	(2) 知的障害者就労移行コース	20名	小計 30名
	(3) 身体障害者就労継続(B型)コース	20名	
	(4) 知的障害者就労継続(B型)コース	40名	小計 60名

6. 作業内容

製パン・製菓、カフェレストラン、レトルト食品製造販売、軽作業、マッサージ、ハウスクリーニング等を行います。

7. 活動日数及び販売

(1) 活動日

- ① 活動日数 260日(ただし作業科目によっては、営業日が30日~31日、利用者及び職員は、ローテーションによる22日ないし23日勤務とします。)
- ② 休日 年間105日とし、作業種によって異なりますが、月間シフト表を作成し勤務します。
- ③ 勤務時間 作業種によって異なりますが、原則は午前9:00~午後16:00の6時間30分勤務とします。ただし、製パン・製菓やカフェ部門及びレトルト部門は、7時間勤務で早番、日勤、遅番といった勤務形態とします。

トピックス

地域活動ホーム建設資金のための募金活動の第2弾として・・・

映画「ヨコハマメリー」を上映します！！

この映画の中にはいろいろな人の様々な人生模様が描かれています。映画を見に来てくださった方一人ひとり、それぞれの人生を考えることが出来たらうれしいです。また、地元横浜出身である中村高寛監督と本作にも登場される写真家の森日出夫氏・タレントの清水節子氏のトークショーが映画上映後に行われます！！多くの方にお越しいただき、生の声を聴いていただきたいと思います。是非、ご来場下さい。

日時:2008. 6. 21(土)

開場 12:45 開演 13:15

チケット全席自由 1,000円 場所:西区公会堂



■募金活動の第3弾・予告■

米良美一（めらよしかず）チャリティーコンサート♪

宮崎アニメ「もののけ姫」で一世を風靡した。2007年、それまでの半生を振りかえり、それまでひた隠しにして来た病気との壮絶な戦い、成功と挫折、そして目覚めに至るまでの自叙伝を出版。地声で歌う「ヨイトマケの唄」が高い評価を受け、歌手として表現の幅を広げている。この機会に是非ご来場ください。

■11月29日（土）関内ホール■14時開演■全席自由3000円

■チケット申し込み：チケットぴあ0570-02-9999（Pコード：P291-833）

編集後記

県央・共生通信は2法人合同の新施設準備委員会が発行しています。

今後、新しい施設に関する情報等を発信していきます。施設の建設状況は日比野設計さんのホームページ（<http://yokohama.hibinosekkei.com>）に掲載されていますので是非ご覧ください。

●職員募集をしています●

〈法人型地域活動ホームで
やりがいのある仕事をしてみませんか！〉

横浜共生会では市内18区中、今まで、2ヶ所(港北区・南区)を運営。そして新たに西区が始まります。就労を担う県央福祉会と連携を創り出しながら本当の地域生活支援を一緒にやりませんか。

年齢、資格等は問いませんのでご応募ください。

◇採用試験 平成20年8月2日(土) 9時～
詳細は下記までお問い合わせください。

(社福) 横浜共生会

法人事務局採用担当 TEL045-592-1011

◇非常勤や短時間勤務も募集中です。

詳細は下記までお問い合わせください。

地域活動ホーム統括 渡辺 TEL045-264-2866

その他詳細は社会福祉法人 横浜共生会ホームページ《<http://www.y-kyousei.or.jp>》をご覧ください。

平成21年度(2009年度)職員募集

支援員・介護員・指導員(児童担当)・保育士。
理学療法士・作業療法士他、10名程度

◇資格

大学院・大学・短大・専門学校卒業または平成21年3月卒業見込みの方(施設勤務経験者は35歳位まで)
※学部・学科・専攻等は問いません。

◇説明会及び選考会

平成20年7月26日(土) 10:30～

詳細は下記までお問い合わせ下さい。

(社福) 県央福祉会

法人事務局採用担当 TEL046-200-2888
採用アドレス《<http://saiyou@tomoni.or.jp>》
〒242-0021 大和市中央2-4-8 S・Kビル101

その他詳細は、社会福祉法人県央福祉会のホームページ《<http://tomoni.or.jp>》または、携帯電話からは《<http://tomoni.or.jp/i/>》をご覧ください。